

- ・会費の値上げ提案……全理事の意見を確認し、追加資料を検討した。
- ・1991年度事業報告案・決算報告案、1992年度事業計画案・予算案についての総会提出資料内容を検討した。

7. 第5回理事会の議題について(5月26日開催予定)
  - ・第18回気象審議会の答申に関連した学会での対処方針を検討する作業委員会の設置と検討方針。

編集後記：この号が皆様のお手元に届くころには西日本の梅雨明けも間近、東日本はあと少しというところでしょうか。1年後の1993年7月には横浜において IAMAP '93 が開かれます。会議の準備は多くの方々のご努力により順調に進んでおり、海外からの反応もそれなりに返ってきているのですが、国内からの Mailing Registration が多くありません。7月の下旬といえは関東地方の梅雨明けの頃、蒸し暑い戸外を避け、涼しい会議場で気象三昧の2週間。アジアで初めて開かれる IAMAP 会議です。14日間全部は無理としても、会員の皆様には1日でも参加してアジアをはじめ世界の気象関係者の顔や声、姿形を知り、討論もしていただければ、と思います。本人を知っていると解説や論文で出てくる名前に血が通うというものです。

さて昨年9月の編集後記で触れられていますように、

編集委員会では1982年から10年間の「天気」の索引を作る作業を行っています。私は昨年4月に編集委員となり、この索引作成を担当しています。前回の索引作成では28年間の索引ということもあり人海戦術も用いたと聞いていますが、今回は最近の技術の進歩や個人的趣味を反映し、パソコンに全面的に依存した小人数による索引作成作業となりました。つまり、全記事の表題や著者などの情報をパソコン上のデータベースにし、分類番号やキーワードを付与したうえ、適当な順序と書式で出力・印刷することになりました。現在、予定していた1991年12月号までの情報の打ち込みが終了し、来年度の印刷に向けて内容の検査を行っています。またパソコン上のデータベースという特性を生かすため、磁気媒体での公開も検討しています。御意見をお寄せください。

(里村雄彦)